

2020年3月期第2四半期

決算説明会

2019年11月20日

株式会社エヌアイデー

(証券コード：2349)

1. 会社概要

2. 2020年3月期第2四半期決算概要

3. 中期経営計画の進捗状況



4. 2020年3月期通期見通し

5. トピックス（2019年4月～9月）

付録：データ資料

この資料に掲載しております当社の計画及び予想、戦略などは、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後の日本経済や情報処理業界の動向、新たなサービスや技術の進展、不確定要素などにより、実際の業績とは大きく異なる可能性がございます。あらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

1. 会社概要

2. 2020年3月期第2四半期決算概要

3. 中期経営計画の進捗状況

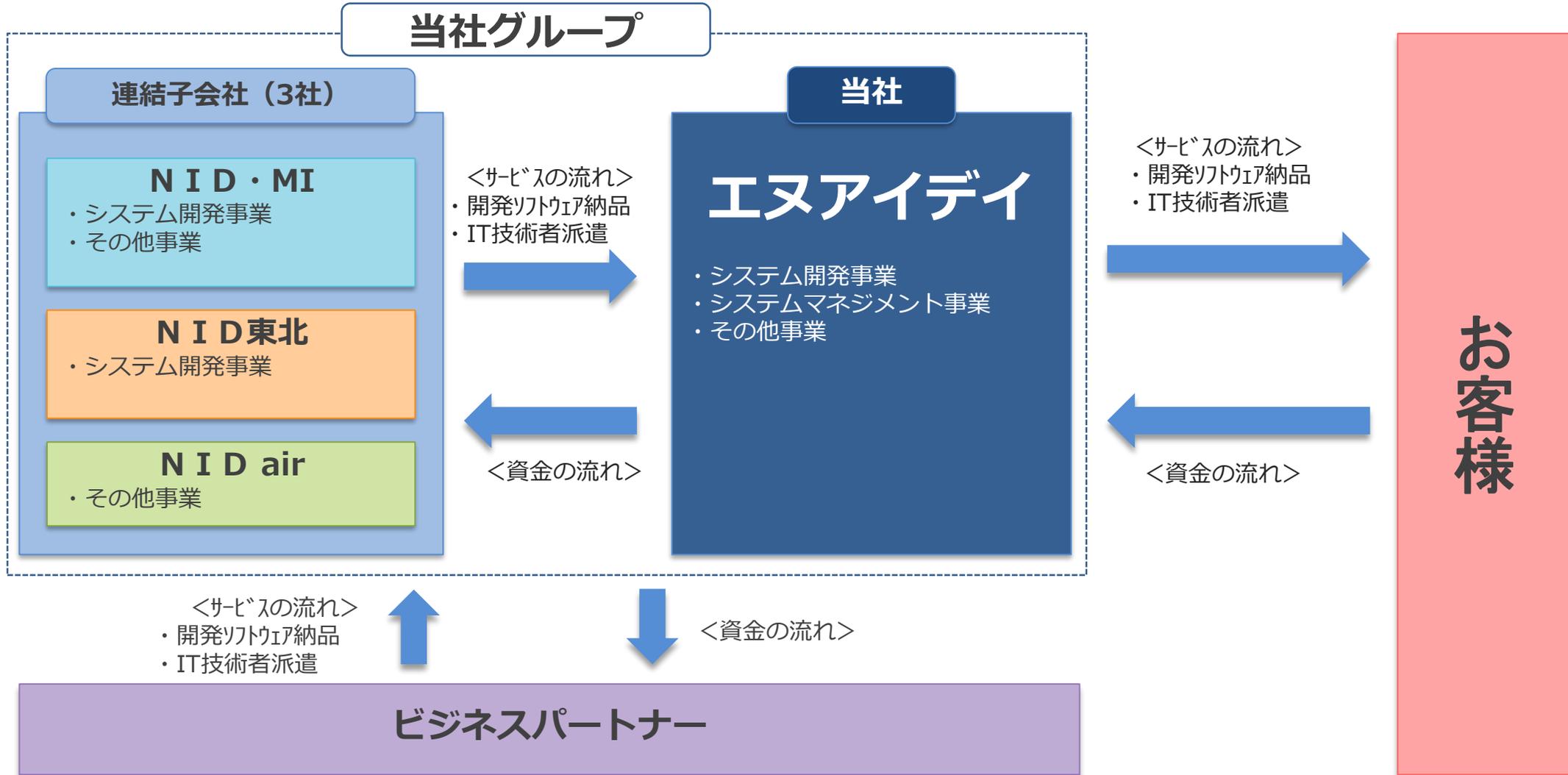


4. 2020年3月期通期見通し

5. トピックス（2019年4月～9月）

付録：データ資料

社名	株式会社エヌアイデイ (英社名：Nippon Information Development Co.,Ltd.)
所在地	東京都中央区晴海1-8-10
設立	1967年5月
資本金	6億5,335万円
事業内容	システム開発事業、システムマネジメント事業、その他事業
連結子会社	3社（NID・MI<千葉県>、NID東北<宮城県>、NID air<東京都>）
社員数	連結：1,512名 単体：1,003名（2019年9月末現在）
発行済株式数	13,109,490株
株主数	804名（2019年9月末現在）



1. 会社概要

2. 2020年3月期第2四半期決算概要

3. 中期経営計画の進捗状況

 ~Smile2020~

4. 2020年3月期通期見通し

5. トピックス（2019年4月～9月）

付録：データ資料

2020年3月期第2四半期決算の概況

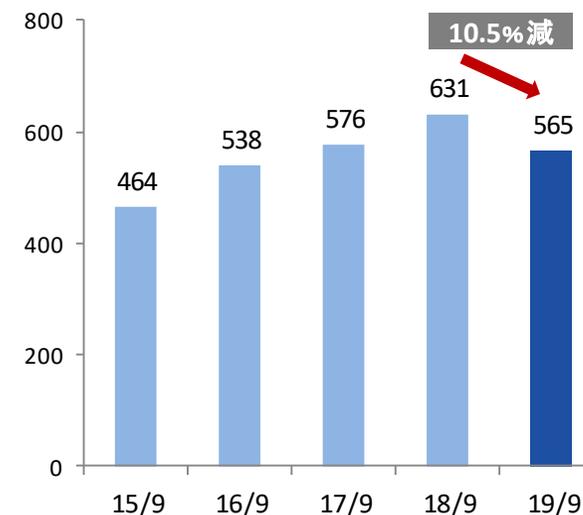
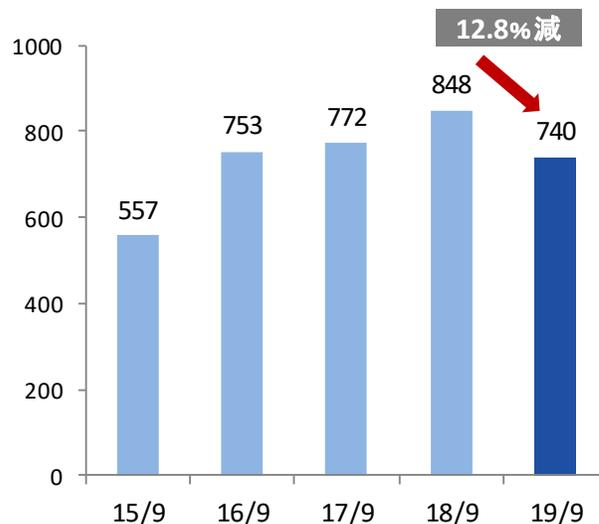
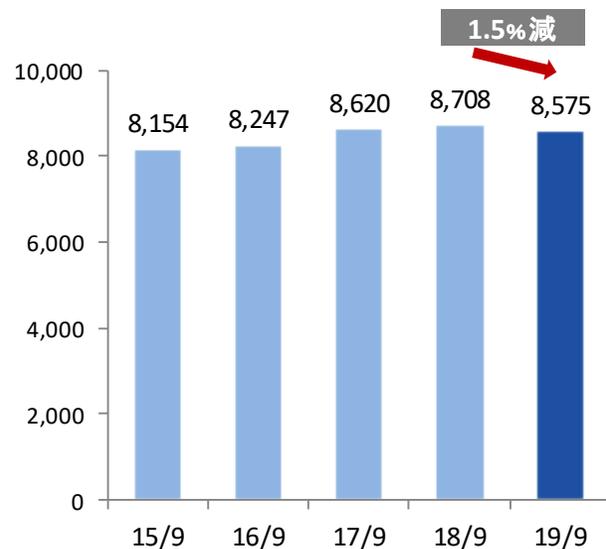
(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期期初予想	2020年3月期第2四半期	
			前期比	予想比
売上高	8,708	9,000	△1.5%	△4.7%
営業利益	848 (9.7%)	800 (8.9%)	△12.8%	△7.4%
経常利益	940 (10.8%)	880 (9.8%)	△9.7%	△3.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	631 (7.3%)	600 (6.7%)	△10.5%	△5.7%

【売上高】

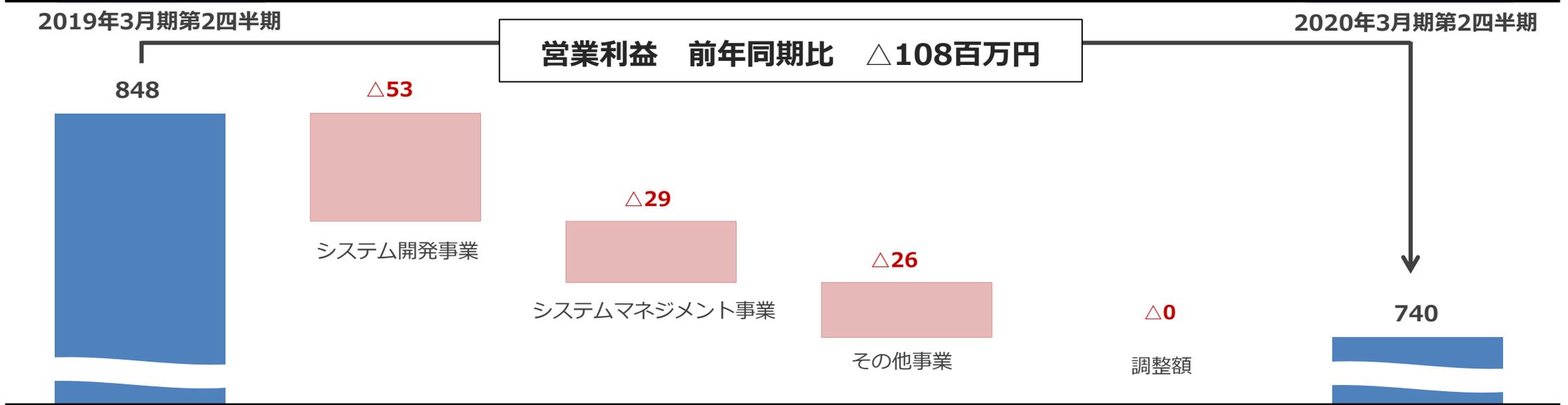
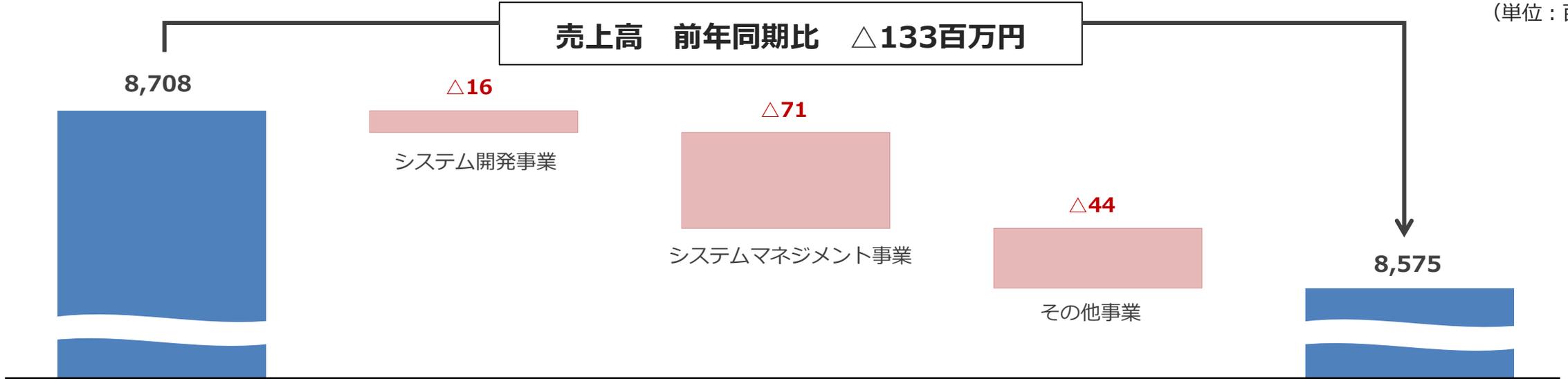
【営業利益】

【親会社株主に帰属する四半期純利益】



売上高・営業利益のセグメント別前年同期比較

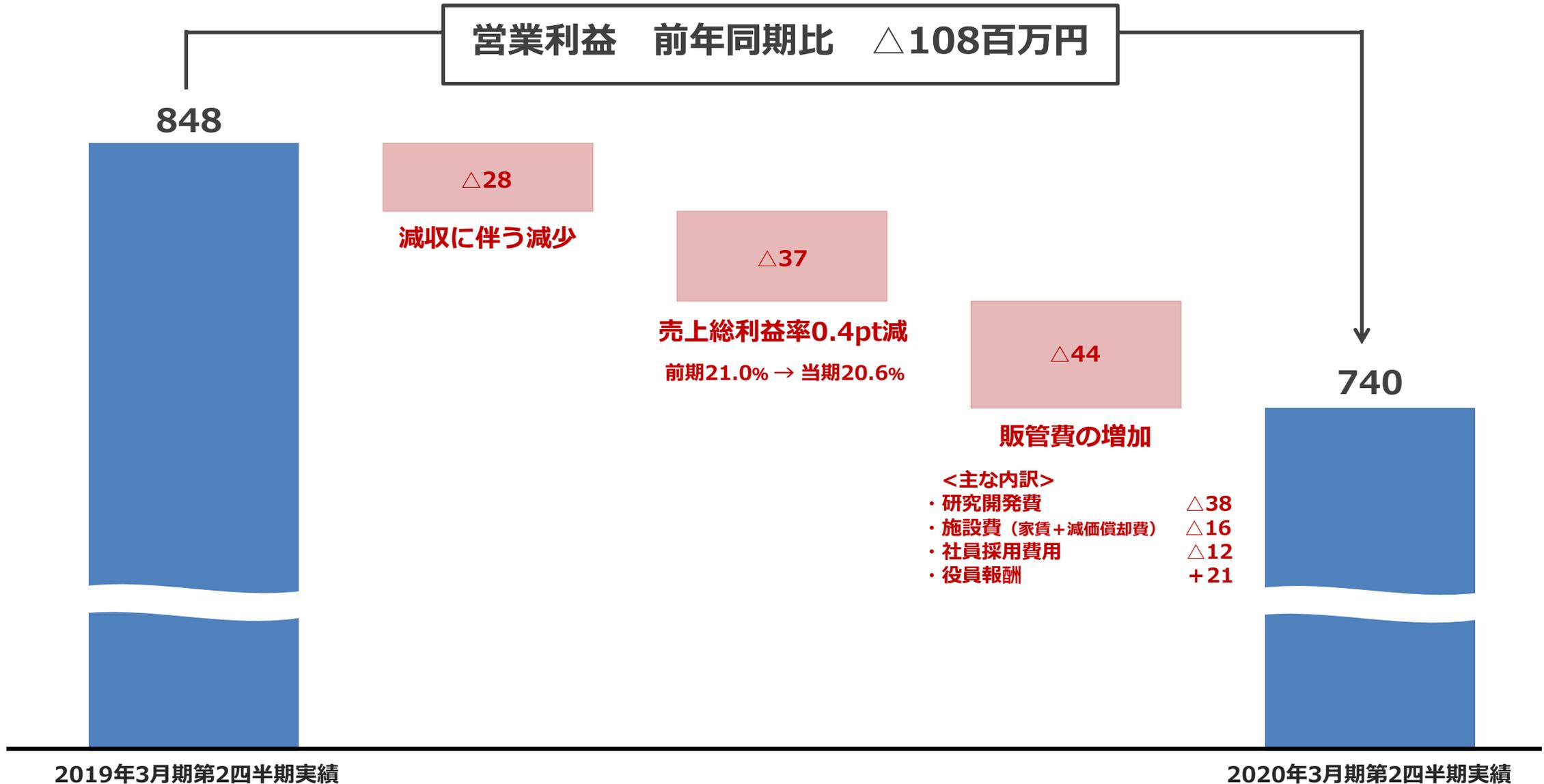
(単位：百万円)



2019年3月期第2四半期

2020年3月期第2四半期

営業利益差異分析（前年同期比較）



連結貸借対照表

(単位：百万円)

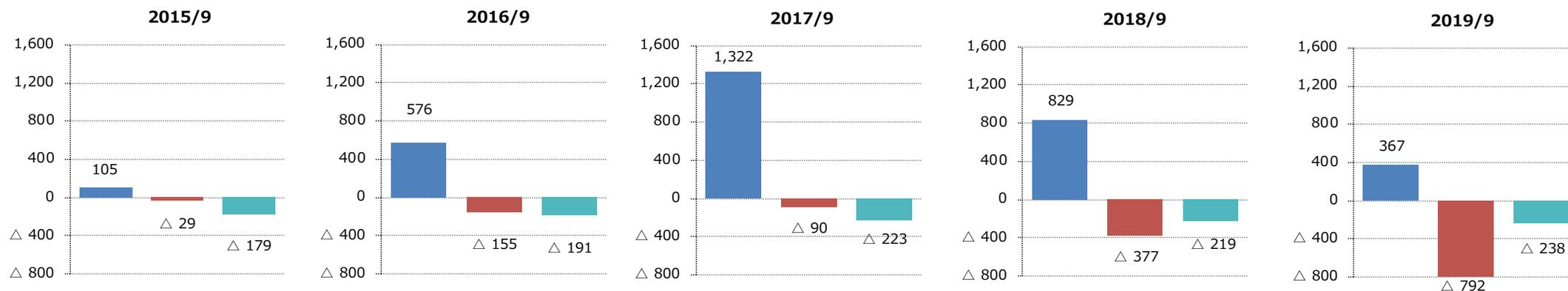
	2019年 3月末	2019年 9月末	増減額	主な増減要因
流動資産	12,276 (67.1)	11,467 (62.2)	△809	現金及び預金 △646 受取手形及び売掛金 △361
固定資産	6,022 (32.9)	6,967 (37.8)	+944	投資有価証券 +950
資産合計	18,299 (100.0)	18,434 (100.0)	+134	
流動負債	2,571 (14.0)	2,252 (12.2)	△319	未払金 △186 未払法人税等 △94
固定負債	3,028 (16.5)	2,866 (15.5)	△161	役員退職慰労引当金 △145
負債合計	5,600 (30.6)	5,119 (27.8)	△480	
純資産合計	12,699 (69.4)	13,314 (72.2)	+615	利益剰余金 +327 その他有価証券評価差額金 +274
負債純資産合計	18,299 (100.0)	18,434 (100.0)	+134	

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期実績	2020年3月期 第2四半期実績	増減額	主な増減要因
営業活動によるCF	829	367	△462	税金等調整前四半期純利益 △98 役員退職慰労引当金の増減額 △157 未払金の増減額 △115
投資活動によるCF	△377	△792	△415	投資有価証券の取得による支出 △125 投資有価証券の売却及び償還による収入 △62 出資金の払込による支出 △100 有形固定資産の取得による支出 △50
財務活動によるCF	△219	△238	△19	
現金及び現金同等物期末残高	8,173	8,212		

■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF



セグメント別売上・利益構成

(単位：百万円)

セグメント名	2019年3月期 第2四半期実績		2020年3月期 第2四半期予想		2020年3月期 第2四半期実績			前期比		予想比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益	売上高	営業利益
システム開発事業	5,467	595	5,807	610	5,451	542	9.9%	△0.3%	△9.0%	△6.1%	△11.1%
システムマネジメント事業	2,520	215	2,470	166	2,449	186	7.6%	△2.8%	△13.7%	△0.8%	+12.2%
その他事業	719	35	721	23	675	9	1.4%	△6.2%	△74.5%	△6.4%	△60.3%
連結計	8,708	848	9,000	800	8,575	740	8.6%	△1.5%	△12.8%	△4.7%	△7.4%

システム開発事業

(単位：百万円)

■売上高・営業利益

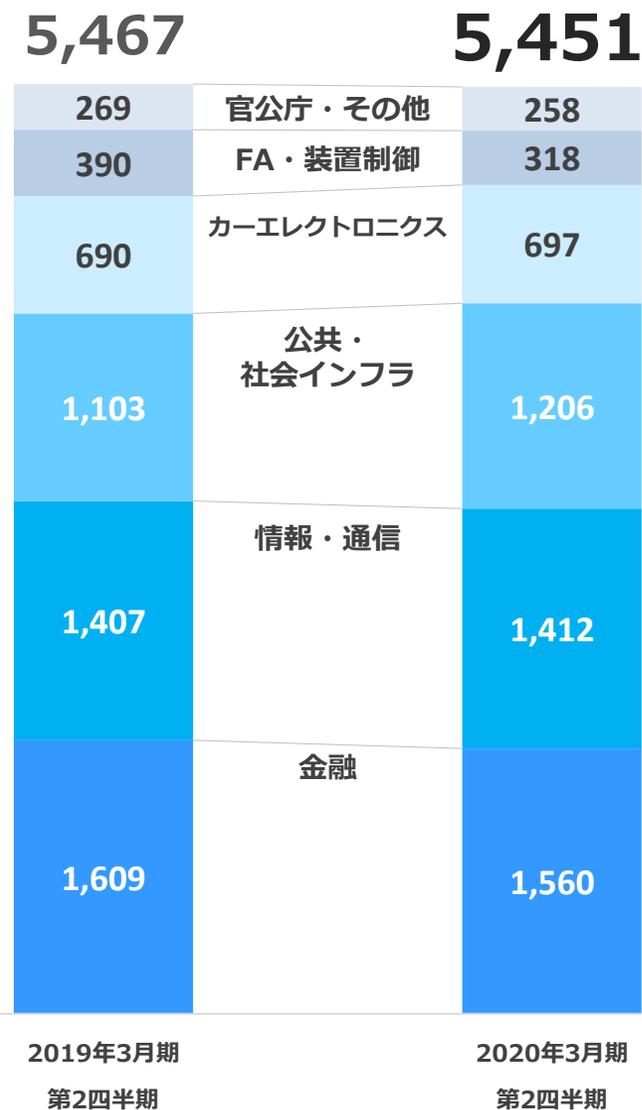
	2019年 3月期2Q	2020年 3月期2Q	前期比
売上高	5,467	5,451	△ 0.3%
営業利益 (営業利益率)	595 (10.9%)	542 (9.9%)	△ 9.0%
金融	1,609	1,560	△ 3.0%
情報・通信	1,407	1,412	+ 0.3%
公共・社会インフラ	1,103	1,206	+ 9.4%
カーエレクトロニクス	690	697	+ 1.0%
FA・装置制御	390	318	△ 18.4%
官公庁・その他	269	258	△ 4.0%

生産性の低下した案件が発生したことにより減益。

電力系の案件が順調に伸長したことにより増収。

前期大型案件の収束により減収。

■売上高・棒グラフ



システムマネジメント事業

(単位：百万円)

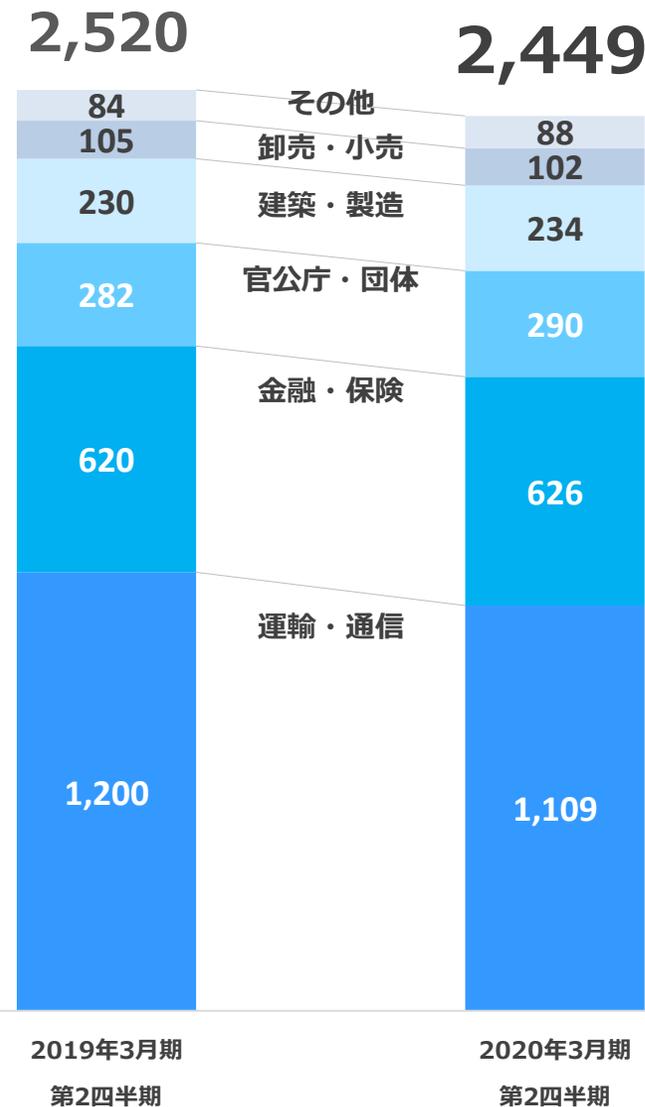
■売上高・営業利益

	2019年 3月期2Q	2020年 3月期2Q	前期比
売上高	2,520	2,449	△ 2.8%
営業利益 (営業利益率)	215 (8.5%)	186 (7.6%)	△ 13.7%
運輸・通信	1,200	1,109	△ 7.6%
金融・保険	620	626	+ 1.0%
官公庁・団体	282	290	+ 2.8%
建築・製造	230	234	+ 1.8%
卸売・小売	105	102	△ 3.1%
その他	84	88	+ 4.8%

運輸・通信の大型案件が収束したことにより減益。ただし当初予想比では+12.2%となった。

大型案件が収束したことにより減収。

■売上高・棒グラフ



その他事業

(単位：百万円)

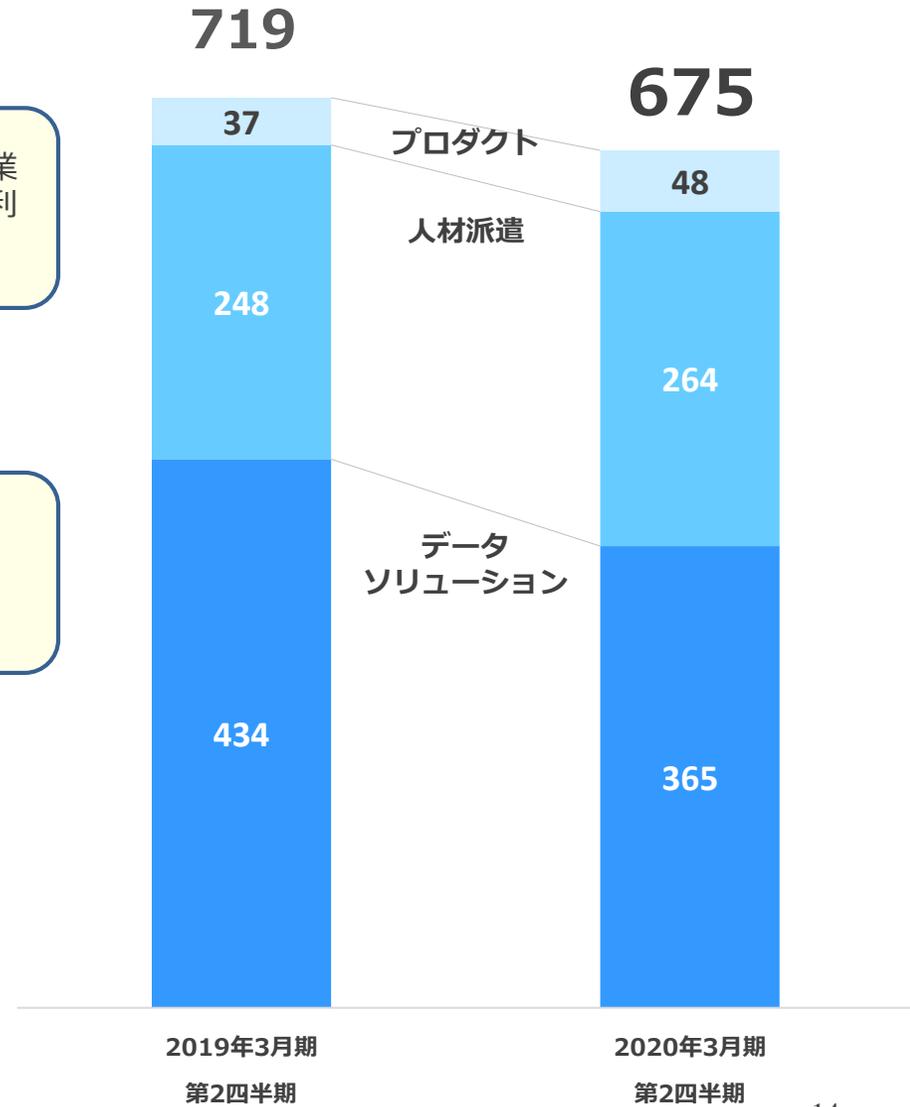
■売上高・営業利益

	2019年 3月期2Q	2020年 3月期2Q	前期比
売上高	719	675	△ 6.2%
営業利益 (営業利益率)	35 (4.9%)	9 (1.4%)	△ 74.5%
データソリューション	434	365	△ 15.8%
人材派遣	248	264	+ 6.4%
プロダクト	37	48	+ 30.0%

データソリューション事業の案件縮小による売上・利益が減少。

人材派遣は堅調に推移。

■売上高・棒グラフ



1. 会社概要

2. 2020年3月期第2四半期決算概要

3. 中期経営計画の進捗状況

 ~Smile2020~

4. 2020年3月期通期見通し

5. トピックス（2019年4月～9月）

付録：データ資料

中期経営計画策定時の想定		最終年の足許の状況についての認識
①市場環境	IoT、AI、ビッグデータ、クラウドなどは伸長。 国内ITサービス市場の成長は鈍化。 既存の受託開発システムは縮小。	想定に変化なし。
②顧客動向	IT投資は企業の競争力強化（攻めのIT）へシフト （事業の差別化・柔軟でスピードある変革）。	「攻めのIT投資」へのシフトは一層鮮明に （ITを活用したビジネスモデル変革へ向けた投資）。
③社会環境	生産年齢人口は今後大きく減少。	最新の日銀短観雇用人員判断DIによると、中小企業 を中心に人手不足感はバブル期並みの水準。

➤ 依然として当社を取り囲む技術者不足感については改善されておらず、中計策定時の想定をも超えている。

中期経営計画～財務目標

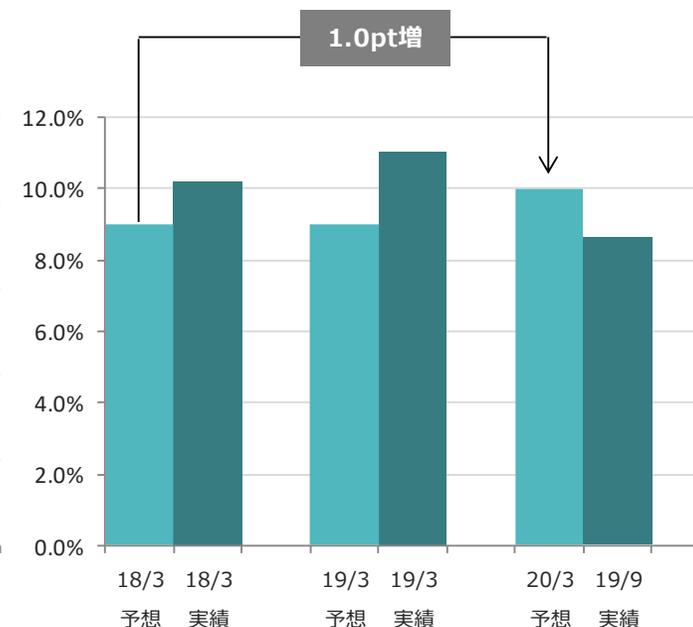
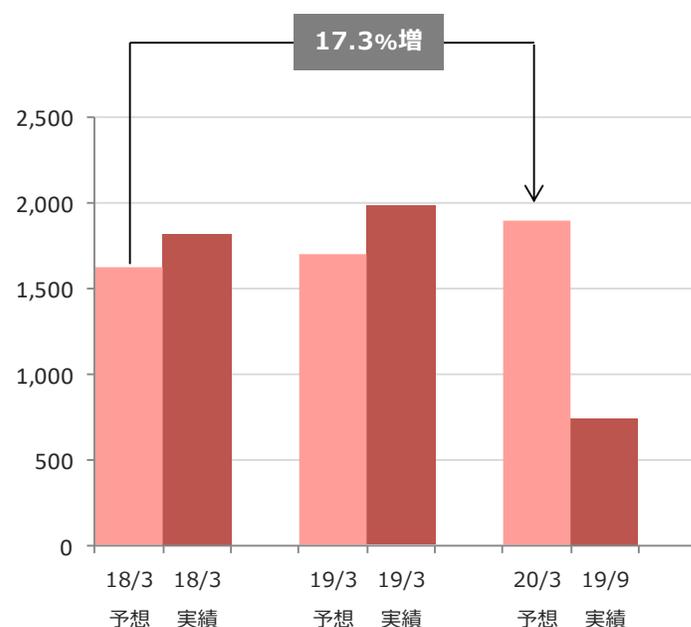
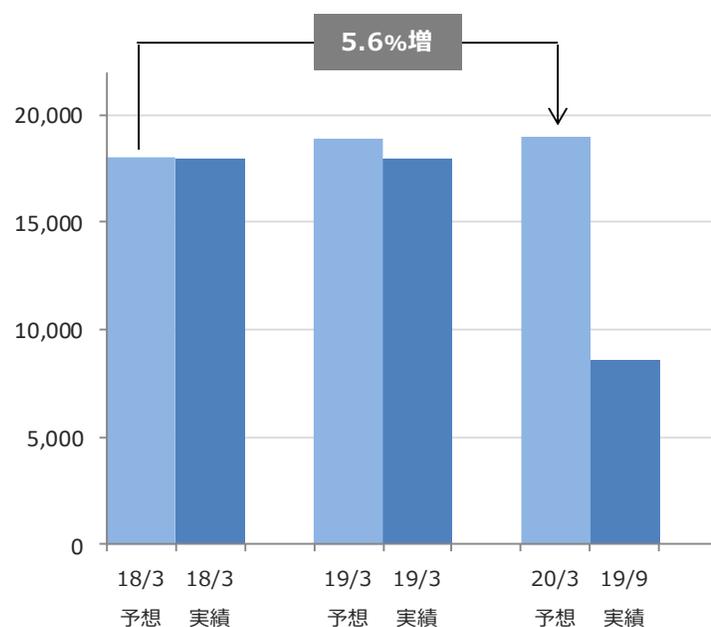
(単位：百万円)

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年3月期				
	実績	実績	通期予想	2Q予想	2Q実績	2Q達成率	通期進捗率
売上高	17,913	17,964	19,000	9,000	8,575	95.2%	45.1%
営業利益 (営業利益率)	1,826 (10.2%)	1,983 (11.0%)	1,900 (10.0%)	800 (8.9%)	740 (8.6%)	92.6%	38.9%

【売上高】

【営業利益】

【営業利益率】

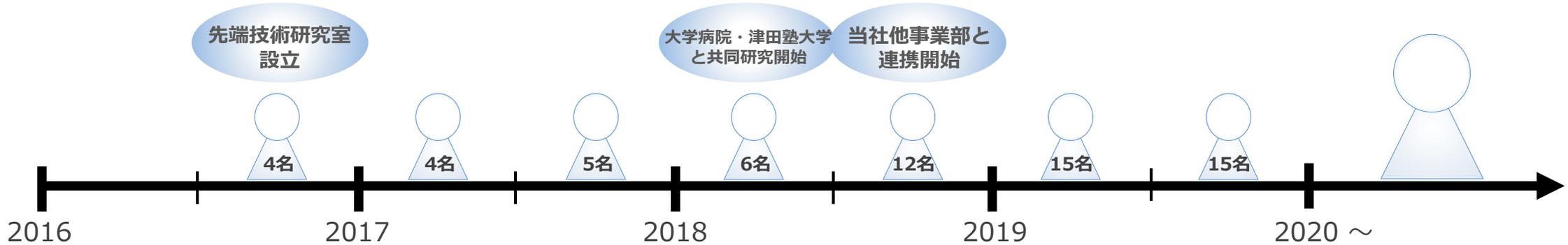


中期経営計画～活動状況（AI戦略）

①先進技術研究開発のための「先端技術研究室」を設立（2017年）

発足当初は4名だったが、現在は15名まで規模を拡大。

AI（画像処理&自然言語処理）を始めとした、先進技術に関する研究開発を進める。



②自社開発のオンプレミス型フルカスタマイズAIチャットボット「Mesoblue AI」を2019年11月にリリース

先端技術研究室の研究開発により製品化。既に1件受注実績あり。

利用イメージ



中期経営計画～活動状況（クラウド戦略）

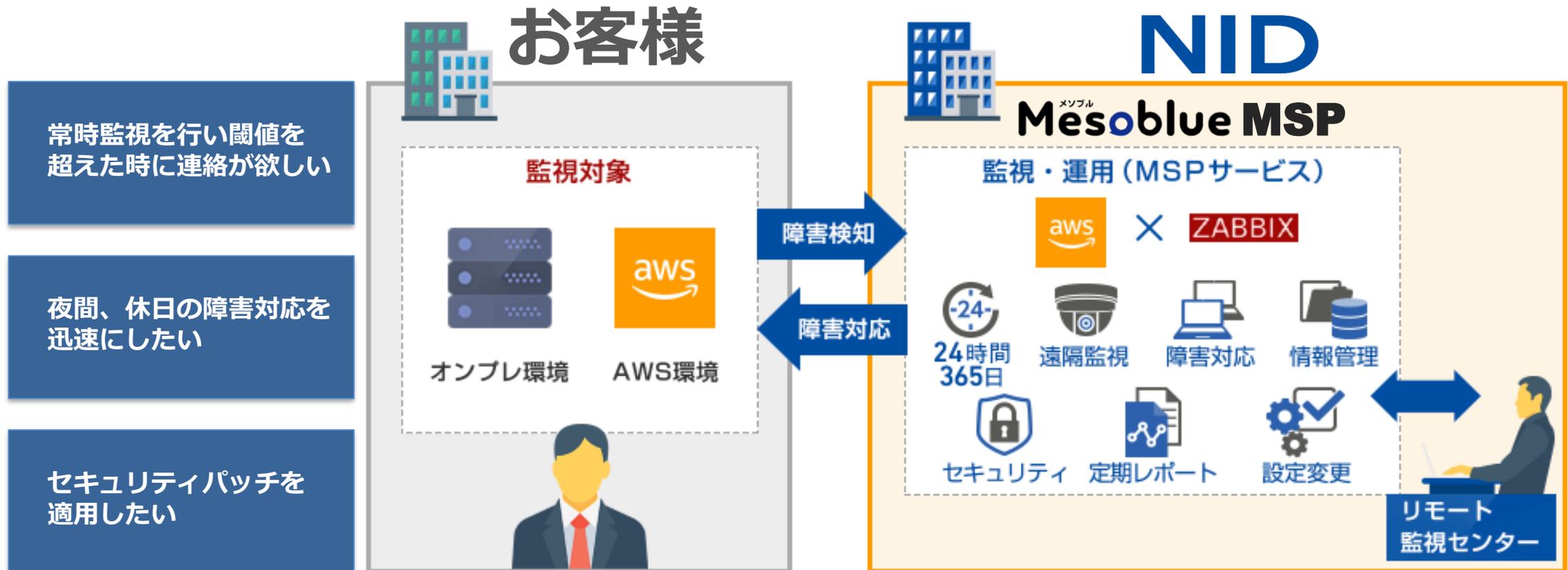
メンバー

③NIDクラウドサービス for AWS「Mesoblue MSP」を開始（2018年度）

2018年度よりNIDクラウドサービス for AWSを開始。

24時間 / 365日体制でお客様のAWS環境、オンプレ環境を監視・運用している。

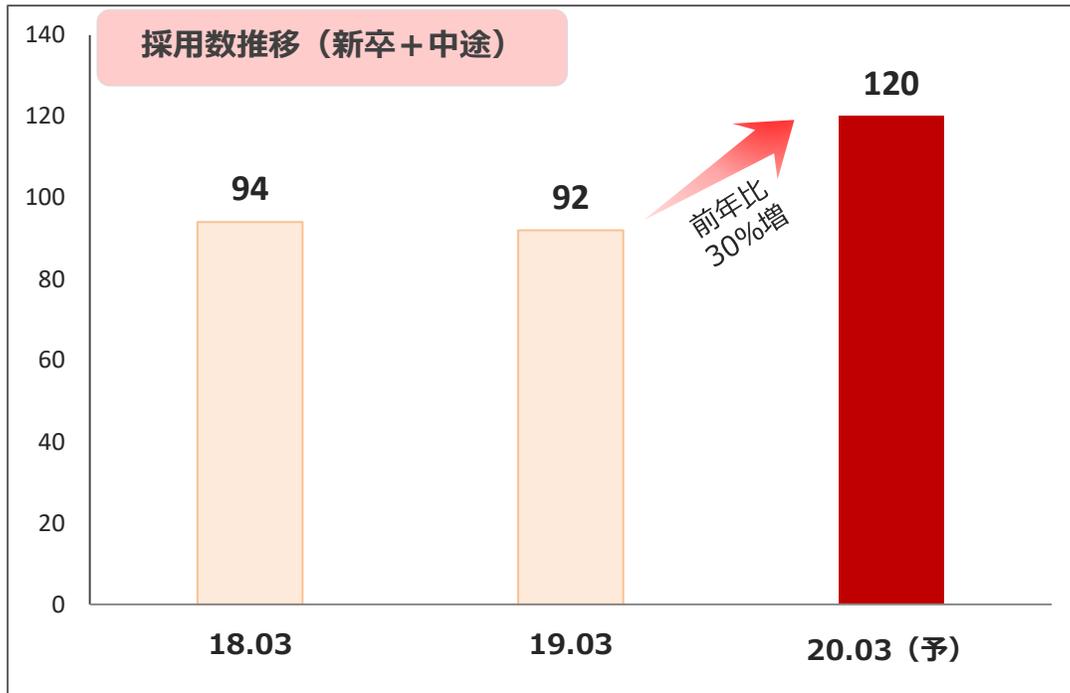
2018年度からの累積受注件数は16件（新規9件、継続7件）。



採用状況について

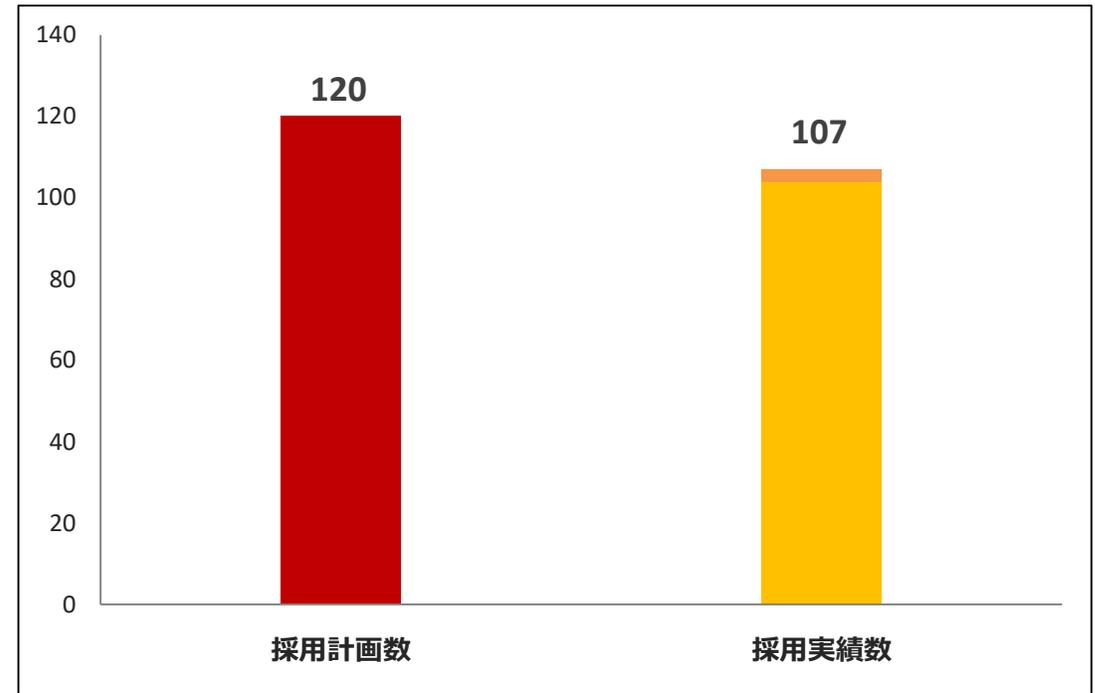
◆今期の採用予定数は、グループ全体で120名（新卒＋中途）。

5月決算説明会時の説明



例年は90名超で推移も、今年度は前年比約30%増の120名（新卒＋中途）を計画していると説明。

2019年9月末実績



グループ全体で107名（新卒104名＋中途3名）を採用。引き続き通年で新卒採用を実施するとともに、即戦力が期待できる中途採用も継続して、採用計画数の達成を目指す。

1. 会社概要

2. 2020年3月期第2四半期決算概要

3. 中期経営計画の進捗状況



4. 2020年3月期通期見通し

5. トピックス（2019年4月～9月）

付録：データ資料

2020年3月期連結業績予想

	2019年3月期 実績	2020年3月期	
		予想	前期比
売上高	17,964	19,000	+5.8%
営業利益	1,983 (11.0%)	1,900 (10.0%)	△4.2%
経常利益	2,168 (12.1%)	2,060 (10.8%)	△5.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,444 (8.0%)	1,390 (7.3%)	△3.8%

セグメント別見通し

(単位：百万円)

セグメント名	2019年3月期 実績		2020年3月期 予想			前期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	率	売上高	営業利益
	システム開発事業	11,461	1,479	12,469	1,445	11.6%	+8.8%
システムマネジメント事業	5,008	406	4,944	381	7.7%	△1.3%	△6.1%
その他事業	1,494	91	1,585	72	4.5%	+6.1%	△21.6%
連結計	17,964	1,983	19,000	1,900	10.0%	+5.8%	△4.2%

セグメント別上期実績／下期見通し

<システム開発事業>

(単位：百万円)

	上期 当初予想	上期 実績	差異		下期 当初予想	下期 修正予想	差異
売上	5,807	5,451	△ 356	売上	6,662	7,018	356
営業利益	610	542	△ 68	営業利益	835	903	68
営業利益率	10.5%	9.9%		営業利益率	12.5%	12.9%	
<p>・調達計画未達及び一部の生産性低下案件発生により、当初予想未達。</p>				<p>・中部事業所(豊田市)を12月に名古屋市に移転・拡張予定。名古屋地区の体制を強化し、カーエレクトロニクス分野での受注増を見込む。上期の生産性低下案件も収束したことにより下期は利益率回復を見込み、通期予想を据え置く。</p>			

セグメント別上期実績／下期見通し

<システムマネジメント事業>

(単位：百万円)

	上期 当初予想	上期 実績	差異		下期 当初予想	下期 修正予想	差異
売上	2,470	2,449	△ 21	売上	2,474	2,495	21
営業利益	166	186	20	営業利益	195	195	
営業利益率	6.7%	7.6%		営業利益率	7.9%	7.8%	
<p>・大型案件剥落の影響は概ね想定通りであったが、売上は若干の未達。一方、営業利益は生産性を高めたことにより上振れて着地。</p>				<p>・引き続き主要顧客からの受注は堅調。スポット案件やAWS環境構築案件のリピート受注等を見込み、売上は通期予想を据え置き、営業利益は若干の上方修正。</p>			

セグメント別上期実績／下期見通し

<その他事業>

(単位：百万円)

	上期 当初予想	上期 実績	差異		下期 当初予想	下期 修正予想	差異
売上	721	675	△ 46	売上	863	910	47
営業利益	23	9	△ 14	営業利益	69	63	△ 6
営業利益率	3.2%	1.4%		営業利益率	8.0%	6.9%	
<p>・人材派遣事業は堅調に推移したものの、データソリューション事業の売上減により、予想比で大きくマイナス。</p>				<p>・人材派遣事業では、増員を見込む。一方、データソリューション事業の受注環境は引き続き厳しいが、営業強化を図る。さらに、機械化・効率化の推進で利益率の改善を図るが、通期予想は下方修正。</p>			

1. 会社概要

2. 2020年3月期第2四半期決算概要

3. 中期経営計画の進捗状況

 ~Smile2020~

4. 2020年3月期通期見通し

5. トピックス（2019年4月～9月）

付録：データ資料

トピックス（2019年4月～9月）

4月

- ・ セグメント刷新：5セグメントから3セグメントに集約

5月

- ・ 株式会社アルム及び医療法人社団天太会へ出資
- ・ Japan IT week【春】内の「第10回 クラウドコンピューティングEXPO【春】」に出展

6月

- ・ 株式会社グッドクリエイトへ出資

7月

8月

- ・ 健康優良企業（銀）認定：働き方改革の一環として取得

9月

◆Japan IT week【春】に出展 (2019年5月)

Japan IT week【春】内の「第10回 クラウドコンピューティングEXPO【春】」に出展。
『AIチャットボット』 『NIDクラウドサービスfor AWS』 『グラスライブ・コネクト』を展示。

●展示ブース全景



●大勢のお客様にご来場いただく



トピックス（2019年4月～9月）

◆当上半期は2件の業務・資本提携を実施

◆株式会社アルム／医療法人社団天太会（2019年5月出資）

アルム：2001年起業、4年前に医療IT分野に参入したベンチャー。11月4日付の日本経済新聞（朝刊）にて「未上場スタートアップ上位20社」の18位で紹介される。

天太会：1999年設立の医療法人で、アルムが提供する医療ICTを推進するモデルクリニックを経営。10月に「チームメディカルクリニック」がグランドオープン。

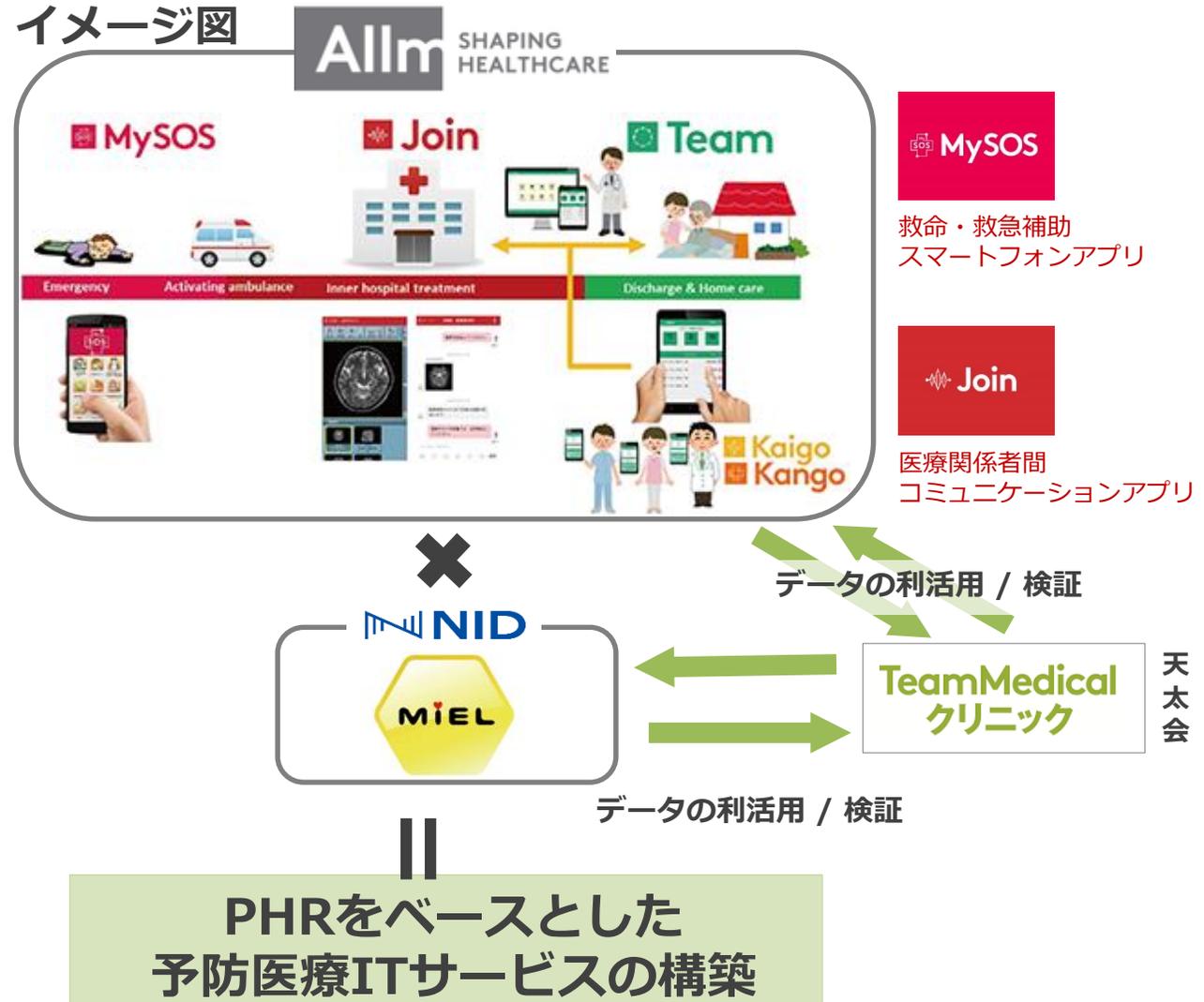
◆期待されるシナジー

3者間で業務提携・研究開発を通じた医療IT伸長の実現を目指す。

アルムとは、同社からの医療ITノウハウの獲得、同社が提供するプラットフォームの利活用、コンソーシアムメンバー等との協業等を期待している。

天太会とは、当社が今後推進する医療ITビジネスにおいて、医療データ収集及びICT利用の医療サービス提供の検証等の取り組みを行っている。

イメージ図



トピックス（2019年4月～9月）

◆当上半期は2件の業務・資本提携を実施

◆株式会社グッドクリエイト（2019年6月出資）

「検索の次へ」を経営理念として掲げ、スマホの位置情報や買い物履歴などから個々人に的確な広告プッシュ通知を配信するアプリ「@POP」の開発と提供を手掛ける、香川発の先鋭的なベンチャー。

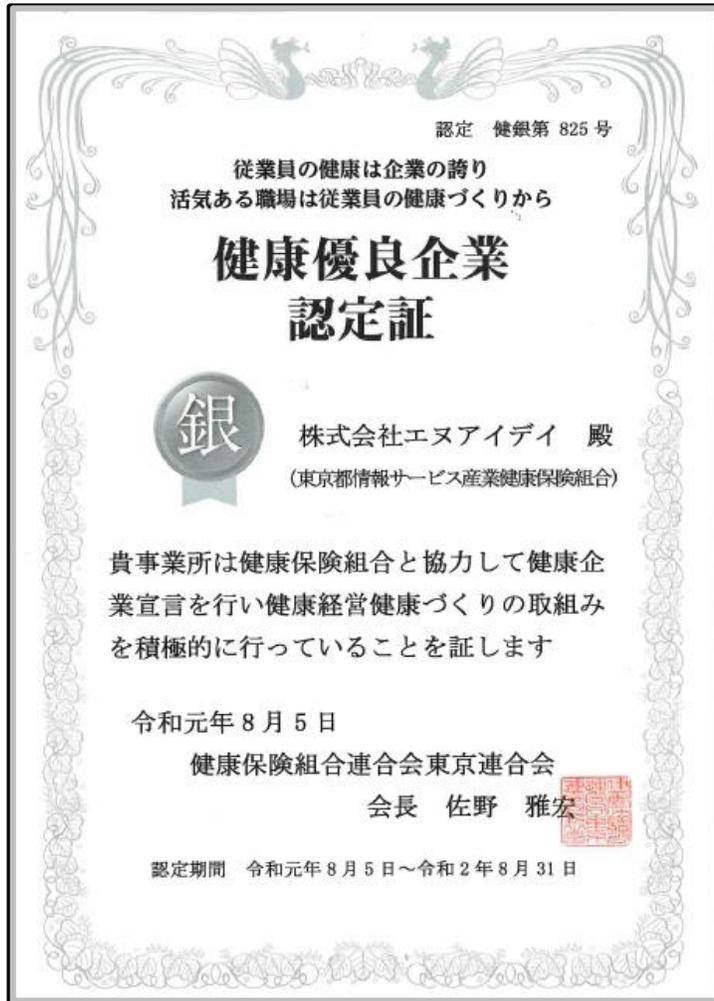
◆期待されるシナジー

グッドクリエイトが展開する「@POP」事業の伸長を当社とともに展開。加えて、グッドクリエイトは「@POP」にAI技術を活用してユーザーの位置情報・時間・属性を融合させ、新しいマーケティング広告の開発を構想しており、当社とのAI分野での協業・技術連携も予定。

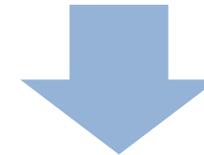


トピックス（2019年4月～9月）

◆健康優良企業として「銀の認定」を取得（2019年8月）



当社は健康保険組合連合会東京連合会に「健康企業宣言」を行い、積極的な健康経営への取り組みを実施。
その結果、健康優良企業『銀の認定』を取得（健銀第825）。



『働き方改革』の一環として、当社は今後もこうした取り組みを積極的に行ってまいります。

できるわけある

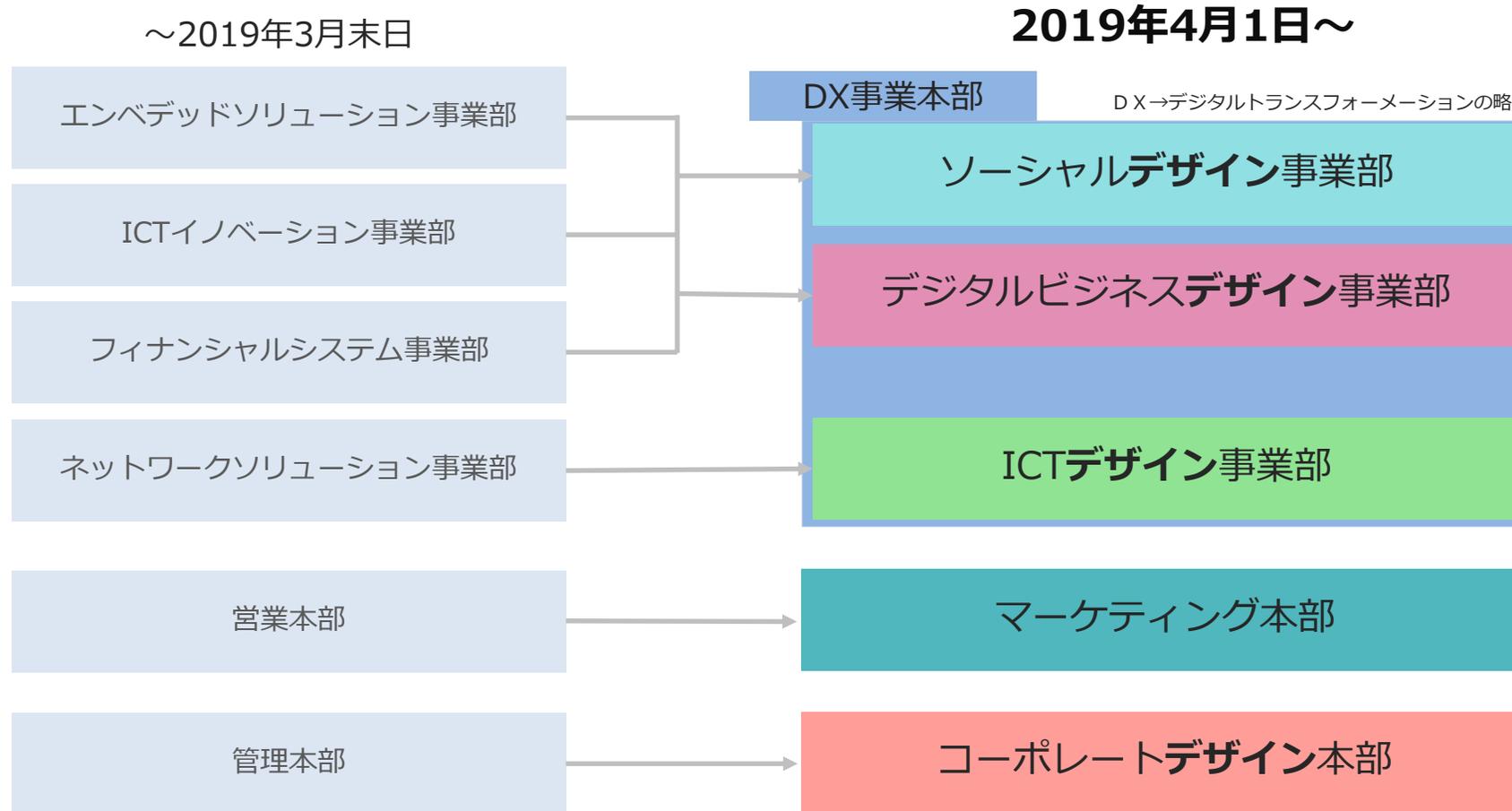


1. 会社概要
2. 2020年3月期第2四半期決算概要
3. 中期経営計画の進捗状況
 ~Smile2020~
4. 2020年3月期通期見通し
5. トピックス（2019年4月～9月）

付録：データ資料

組織変更について（エヌアイデイ）

事業部再編の目的：よりコンパクトな事業部体制で効率的に顧客に接し、顧客の真のニーズを満たすため



連結セグメントの変更について（2020年3月期より）

◆セグメントを以下のように変更

旧セグメント	会社	内容	新セグメント
エンベデッドソリューション事業	エヌアイディ NID・MI NID東北	カーエレクトロニクス、FA（ファクトリーオートメーション）・装置制御、社会インフラ、メディカルシステム等の分野の顧客を対象に、組込みソフトウェアの設計／開発を幅広く提供。	システム開発事業 （開発）
ICTイノベーション事業	エヌアイディ NID・MI NID東北	モバイル、企業システム、社会インフラ、ホームエレクトロニクス等の分野の顧客を対象に、通信システム開発を中心に設計／開発を幅広く提供。	
フィナンシャルシステム事業	エヌアイディ NID・MI	生命保険・損害保険、クレジット・証券、情報・サービス等の分野の顧客を対象に、金融ビジネスソフトウェアの設計／開発を幅広く提供。	
ネットワークソリューション事業	エヌアイディ	各種サーバー等のネットワークに関するシステム構築、インフラ構築、セキュリティーサービス、システム保守・運用等のサービス全般を幅広く提供。	システム マネジメント事業 （保守・運用）
その他事業	エヌアイディ NID・MI NID air	データエントリーサービス等を提供するデータソリューション事業、スマートデバイス向けアプリケーションやパッケージを含めたプロダクト製品開発を提供するプロダクト事業、人材派遣事業を展開しております。	その他事業

主要な経営指標推移

(単位：百万円)

	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期 (予想)	19年3月期 第2四半期	20年3月期 第2四半期
売上高	17,102	17,683	17,913	17,964	19,000	8,708	8,575
増減率	(+10.1)	(+3.4)	(+1.3)	(+0.3)	(+5.8)	(+1.0)	(△1.5)
営業利益	1,544	1,834	1,826	1,983	1,900	848	740
率(対売上高)	(9.0)	(10.4)	(10.2)	(11.0)	(10.0)	(9.7)	(8.6)
増減率	(+52.7)	(+18.8)	(△0.4)	(+8.6)	(△4.2)	(+9.9)	(△12.8)
経常利益	1,717	1,967	2,015	2,168	2,060	940	849
親会社株主に帰属する 当期純利益	957	1,304	1,362	1,444	1,390	631	565
率(対売上高)	(5.6)	(7.4)	(7.6)	(8.0)	(7.3)	(7.3)	(6.6)
増減率	(+63.6)	(+36.3)	(+4.4)	(+5.9)	(△3.8)	(+9.7)	(△10.5)
1株あたり 当期純利益(EPS)	84.27	114.90	119.99	127.24	122.40	55.65	49.83
純資産	9,042	10,253	11,419	12,699		11,840	13,314
株主資本利益率(ROE)	11.0	13.5	12.6	12.0			
1株あたり配当額	16.6円	(注) 19.3円	19.3円	21円	22円		
配当性向	19.8%	16.8%	16.1%	16.5%	18.0%		

(注) 17年3月期の配当額のうち1.6円は記念配当

株価と出来高の推移

株価 (%)

出来高 (千株)

上場来株価推移 (2003年1月~)

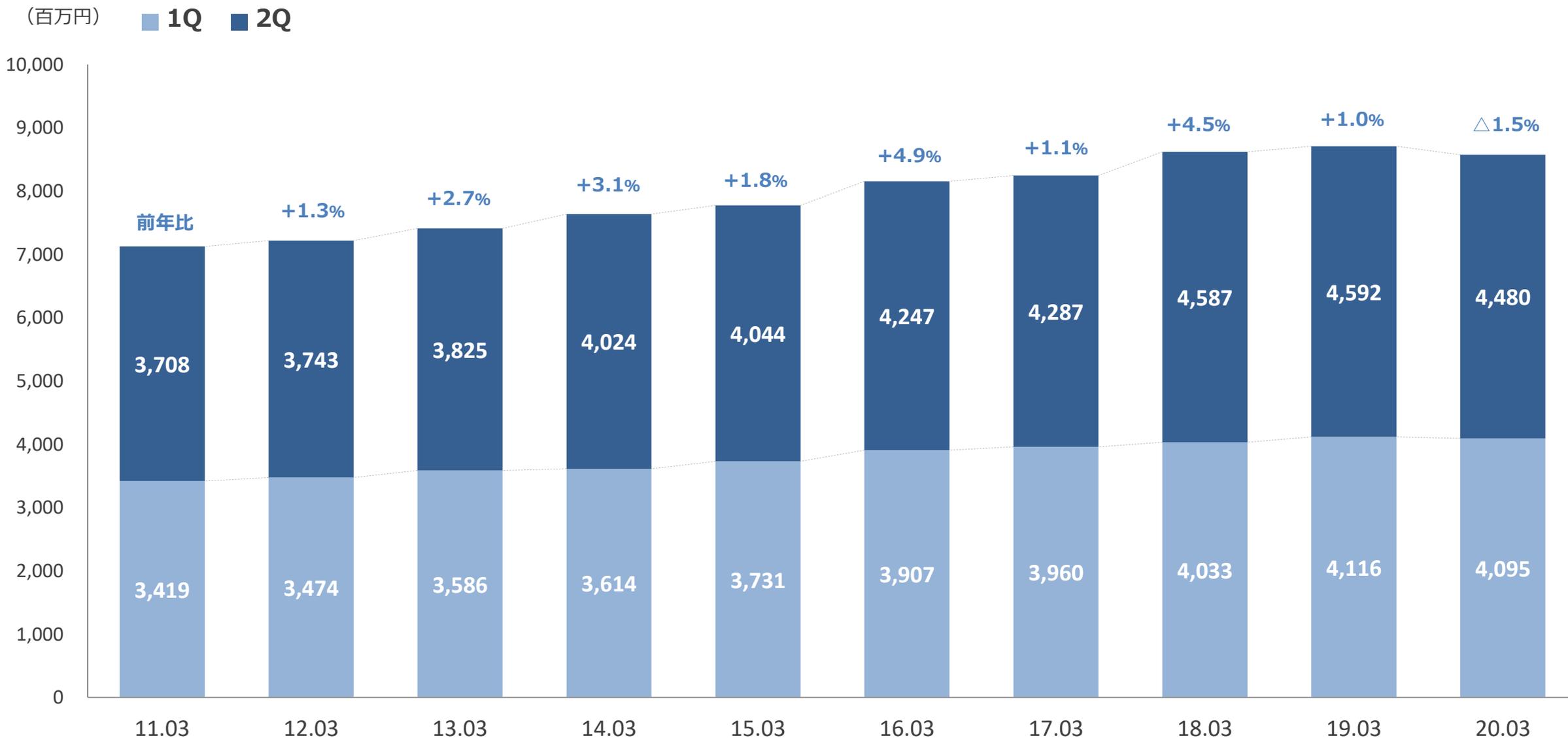
出来高 エヌアイデイ株価 TOPIX

※株価の括弧内は2003年1月の株価を100%としたときの値

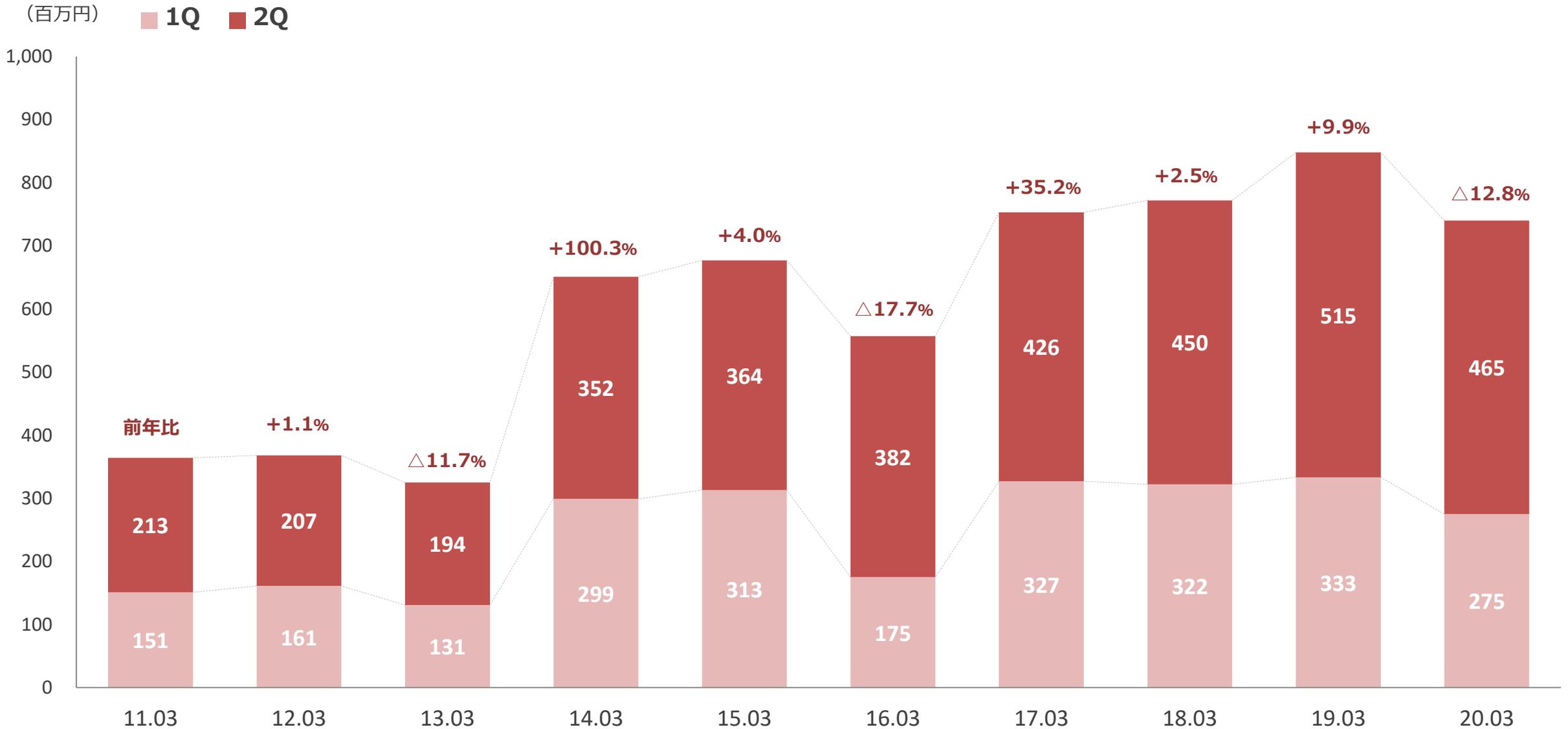
①2019/11/19終値	1,327円
②1株あたり純利益 ('20/03予)	122.40円
③1株あたり純資産 ('19/09実)	1,172.50円
④PER (①÷②)	10.84倍
⑤PBR (①÷③)	1.13倍



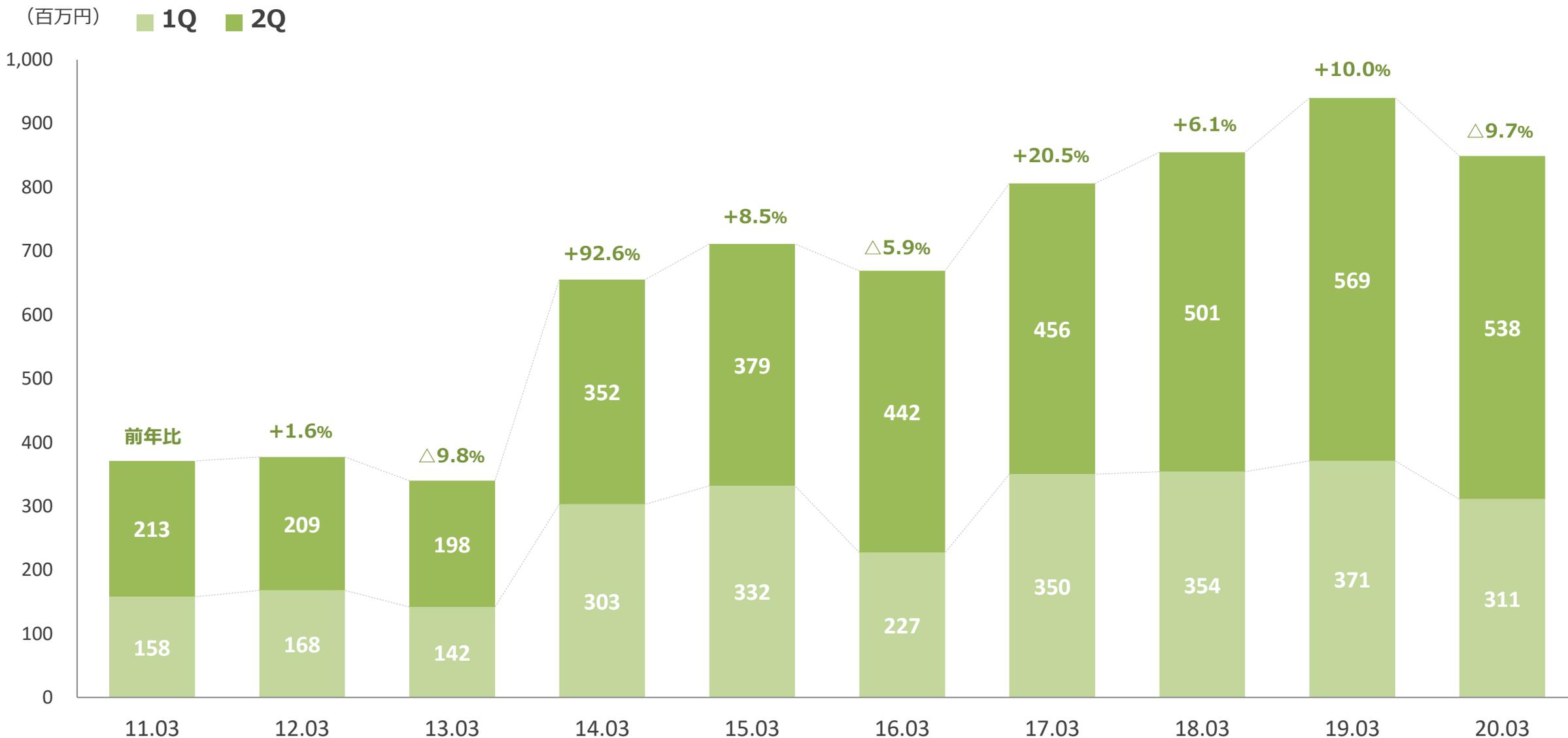
第2四半期売上高の推移 (2011.3~2020.3)



第2四半期営業利益の推移 (2011.3~2020.3)



第2四半期経常利益の推移 (2011.3~2020.3)



第2四半期純利益の推移 (2011.3~2020.3)

